

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21
設置者名	学校法人 立志舎

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ビジネス専門課程	ビジネス学科 (2年制)	夜・通信	665 時数	80×2=160 時数	
	鉄道・トラベル学科 (2年制)	夜・通信	1240 時数	80×2=160 時数	
	医療福祉ビジネス学科 (2年制)	夜・通信	390 時数	80×2=160 時数	
文化教養専門課程	スポーツ学科 競技スポーツコース (2年制)	夜・通信	325 時数	80×2=160 時数	
	スポーツ学科 パーソナルトレーナーコース (2年制)	夜・通信	325 時数	80×2=160 時数	
	スポーツ学科 アスリート公務員コース (2年制)	夜・通信	285 時数	80×2=160 時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関する欄あり。
(掲載：<https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21
設置者名	学校法人 立志舎

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022.11.29 ～ 2025.11.28	企画・調整
非常勤	会社役員	2022.11.29 ～ 2025.11.28	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21
設置者名	学校法人 立志舎

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 鉄道・トラベル学科(2年制)、ビジネス学科(2年制)、医療福祉ビジネス学科(2年制)、スポーツ学科(2年制) 【作成について】 作成過程 各授業科目については、年2回開催している業界関係者、有識者および学園職員で構成する教育課程編成委員会の意見を十分に生かし、学内のカリキュラム作成委員会により教育課程の作成を行い、授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業科目の担当者が作成している。 シラバスは以下の5項目から成る。 1 科目名・開講年次・授業時数・単位数・種類・分類・授業方法・担当教員 2 講義主要目標及び講義概要 3 講義・演習項目 4 テキスト 5 成績評価 シラバス作成の際には、次の点に留意すること。 1について 「授業時数」と「単位数」との関係については、20時数につき1単位とする。 「種類」は、科目の内容に応じて「一般科目」または「専門科目」と記入する。 「分類」は、「必修」または「選択必修」と記入する。 「授業方法」は、科目の内容に応じ「講義」または「演習」と記入する。 ただし、講義と演習を併用して行う場合には、主になる方を記入する。 「担当教員」は、「本学教員」または「実務経験のある教員」と記入する。 2について 学生に何を修得させるのか明確にすること。また、それをどのように実現していくのか、その方向性を示すこと。 3について 2で示した方向性をどのような内容で具体化してゆくのか、項目を立てて記入すること。 4について 授業で使用するテキストやプリント等を記入すること。 5について テスト等、成績評価の対象となるものを記入すること。 【時期について】 作成時期は2～3月上旬、公表時期は3月末とする。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

【成績評価について】

授業科目の学修成果の評価についてはあらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与および履修認定を行うこととし、成績評価については学則第10条および専門課程便覧において規定している。

学則第10条

授業科目の成績評価は、学年末において、各学期に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席字数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

専門課程便覧

- 1 単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- 2 科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試を受けることができる。
- 3 前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は再試を受けることができる。
- 4 成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- 5 合格者の成績評価割合は、成績上位から10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- 6 合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【GPAの算定について】

- 1 学期末に成績評価の基づき、秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- 2 上記の評価に基づきGPAを算定する。
 - (1) 算定方法
 - ① 1単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0とする。
 - ② 秀(取得科目数) 優(取得科目数) 良(取得科目数) 可(取得科目数)
 $4.0 \times \text{秀取得単位数} + 3.0 \times \text{優取得単位数} + 2.0 \times \text{良取得単位数} + 1.0 \times \text{可取得単位数} = \text{GPA換算数}$
 - ③ $\text{GPA換算数} \div \text{総履修単位数}$ (不可の履修単位数を含む)
= 個人のGPA (小数点3位を四捨五入)

【実施時期】

前期(4月から9月)、後期(10月から3月)の年2回実施し、3月末に年間GPAをシステム上で算定する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載：<https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1 卒業認定

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

ビジネス学科	流通、ファッションおよびビジネス分野の業界人として必要な知識および技能を身につける。
鉄道・トラベル学科	旅行・ホテル・鉄道業界の社員として相応しい必要な知識および技能を身につける。
医療ビジネス学科	医療・福祉業界の社員として相応しい必要な知識および技能を身につける。
スポーツ学科	スポーツ業界における社員として相応しい必要な知識および技能を身につける。

2. 進級基準

46 単位

ただし、下記の学科・コースにおいては、進級基準を次のとおりとする。

スポーツ学科

競技スポーツコース 39 単位

パーソナルトレーナーコース 40 単位

フットネストレーナーコース 40 単位

アスリート公務員コース 39 単位

3. 卒業単位

86 単位

ただし、下記の学科・コースにおいては、卒業単位を次のとおりとする。

スポーツ学科

競技スポーツコース 76 単位

パーソナルトレーナーコース 80 単位

フットネストレーナーコース 80 単位

アスリート公務員コース 80 単位

4. 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載 : [https:// www.all-japan.ac.jp/disclosure/](https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21
設置者名	学校法人 立志舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHPにて公開している https://www.all-japan.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	ビジネス学科 (2年制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	2480 単位時間/単位	1880 単位時間/単位	105 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4465 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		10人	1人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会(テスト)を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) Fairy Line、エデン、京揚			
(就職指導内容) ・ 業界研究・業種研究・自己分析・面接指導・新入生就職セミナー・就職模試 ・ 学内就職セミナー			
(主な学修成果 (資格・検定等)) (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) ・ 全経簿記検定2級 受験者数3人 合格者数3人 ・ 全経法人税法能力検定3級 受験者数3人 合格者数3人 ・ マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) Word 受験者数3人 合格者数3人 Excel 受験者数3人 合格者数3人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
(中途退学の主な理由) 疾病 (療養)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室の設置、学生との面談、保護者との電話連絡、保護者宛の郵送による出席状況報告など		

【鉄道・トラベル学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	鉄道・トラベル学科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	1440 単位時間/単位	840 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3360 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		125人	0人	5人	2人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会(テスト)を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
78人 (100%)	1人 (1.3%)	74人 (94.9%)	3人 (3.8%)
(主な就職、業界等)			
JR 東日本、JR 北海道、JR 貨物、東京地下鉄、京王、西武、東京都交通局、東武グループ、京成、新京成、新幹線メンテナンス東海、メトロコマース、伊豆急、埼玉高速、静鉄、東急テクノシステム、小田急バス、京急バス、東急トランセ、帝国ホテル、リゾートトラスト、ミリアルリゾート、富士急ハイランド など			

(就職指導内容) ・ 業界研究・業種研究・自己分析・面接指導・新入生就職セミナー・就職模試 ・ 学内就職セミナー
(主な学修成果(資格・検定等)) (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) ・ 旅行業務取扱管理者試験 受験者数 78人 合格者数 57人 ・ サービス接客検定 受験者数 77人 合格者数 60人 ・ 英語応対能力検定 受験者数 78人 合格者数 78人
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
154人	3人	1.9%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更(起業)を理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室の設置、学生との面談、保護者との電話連絡、保護者宛の郵送による出席状況報告など		

【医療福祉ビジネス学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス専門課程	医療福祉ビジネス学科 (2年制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,720 単位時間/単位	1460 単位時間/単位	1380 単位時間/単位	210 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3050 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		3人	0人	1人	1人	2人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会(テスト)を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 東京慈恵会医科大学病院、千葉愛友会記念病院、千葉西総合病院、桐和会病院、友仁病院			
(就職指導内容) ・業界研究・業種研究・自己分析・面接指導・新入生就職セミナー・就職模試 ・学内就職セミナー			

(主な学修成果 (資格・検定等))		
(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)		
・医療事務技能審査試験	受験者数 5人	合格者数 5人
・ケアクラーク技能認定試験	受験者数 5人	合格者数 4人
・調剤報酬請求事務技能認定試験	受験者数 5人	合格者数 5人
・診療報酬請求事務能力認定試験	受験者数 5人	合格者数 3人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学生相談室の設置、学生との面談、保護者との電話連絡、保護者宛の郵送による出席状況報告など		

【スポーツ学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	スポーツ学科 競技スポーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,720 単位時間/単位	500 単位時間/単位	820 単位時間/単位	945 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,265 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		31人	0人	4人	1人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会（テスト）を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合体育研究所・フージャースウェルネスアンドスポーツ・パスコード・スクールパートナー等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>新入生就職セミナーで早期の意識付けをし、学内就職セミナー・進路決定のための就職公務員ガイダンス・業界研究・業種研究により情報収集を行ったうえで自己分析や面接指導を行い、学生、担任、就職部担当者と三位一体で就職活動を行っている。</p>												
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)</p> <table> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>受験者7人</td> <td>合格者5人</td> </tr> <tr> <td>リテールマーケティング検定</td> <td>受験者5人</td> <td>合格者2人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定</td> <td>受験者7人</td> <td>合格者6人</td> </tr> <tr> <td>上級救命技能認定</td> <td>受験者5人</td> <td>合格者5人</td> </tr> </table>	健康運動実践指導者	受験者7人	合格者5人	リテールマーケティング検定	受験者5人	合格者2人	ビジネス能力検定	受験者7人	合格者6人	上級救命技能認定	受験者5人	合格者5人
健康運動実践指導者	受験者7人	合格者5人										
リテールマーケティング検定	受験者5人	合格者2人										
ビジネス能力検定	受験者7人	合格者6人										
上級救命技能認定	受験者5人	合格者5人										
<p>(備考) (任意記載事項)</p>												

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	4.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更のため</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任が学生の状況を確認し、欠席が多い学生の面談や学生からの相談を受けており、担任に話しづらい場合は学生相談室の利用、保護者への郵送による出席状況報告をして学生支援を実施している。</p>		

【スポーツ学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	スポーツ学科 パーソナル トレーナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,720 単位時間/単位	400 単位時間/単位	1080 単位時間/単位	630 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,110 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人の内数	18 人	0 人	4 人	1 人	5 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会（テスト）を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	1人 (0%)	4人 (100%)	1人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合体育研究所等、福生体育協会、ネクストステージ等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>新入生就職セミナーで早期の意識付けをし、学内就職セミナー・進路決定のための就職公務員ガイダンス・業界研究・業種研究により情報収集を行ったうえで自己分析や面接指導を行い、学生、担任、就職部担当者と三位一体で就職活動を行っている。</p>												
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)</p> <table> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>受験者 4人</td> <td>合格者 4人</td> </tr> <tr> <td>NSCA 体力トレーニング検定</td> <td>受験者 5人</td> <td>合格者 5人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定</td> <td>受験者 4人</td> <td>合格者 4人</td> </tr> <tr> <td>上級救命技能認定</td> <td>受験者 5人</td> <td>合格者 5人</td> </tr> </table>	健康運動実践指導者	受験者 4人	合格者 4人	NSCA 体力トレーニング検定	受験者 5人	合格者 5人	ビジネス能力検定	受験者 4人	合格者 4人	上級救命技能認定	受験者 5人	合格者 5人
健康運動実践指導者	受験者 4人	合格者 4人										
NSCA 体力トレーニング検定	受験者 5人	合格者 5人										
ビジネス能力検定	受験者 4人	合格者 4人										
上級救命技能認定	受験者 5人	合格者 5人										
<p>(備考) (任意記載事項)</p>												

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任が学生の状況を確認し、欠席が多い学生の面談や学生からの相談を受けており、担任に話しづらい場合は学生相談室の利用、保護者への郵送による出席状況報告をして学生支援を実施している。</p>		

【スポーツ学科】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	スポーツ学科 アスリート公務員 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,720 単位時間/単位	500 単位時間/単位	1380 単位時間/単位	770 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,650 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人の内数	10人	0人	4人	1人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 本学はゼミ学習により知識の定着率向上を図り、定期的な答案練習会（テスト）を実施して学生の修得状況を確認している。また、担任制度を設けており勉強面や生活面の相談を受けるとともに、学生相談室を設け学生の支援を行っている。就職指導については就職部と担任が連携して就職指導を行っている。保護者との連携は年4回の学生の状況のお知らせを発送し、必要に応じて電話連絡や保護者面談を行い、学生支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	1人 (0%)	2人 (100%)	1人 (0%)
（主な就職、業界等） 航空自衛官候補生、刑務官、西入間広域消防組合等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>新入生就職セミナーで早期の意識付けをし、学内就職セミナー・進路決定のための就職公務員ガイダンス・業界研究・業種研究により情報収集を行ったうえで自己分析や面接指導を行い、学生、担任、就職部担当者と三位一体で就職活動を行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)</p> <p>上級救命技能認定 受験者1人 合格者1人</p> <p>NSCA 体力トレーニング検定 受験者2人 合格者2人</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任が学生の状況を確認し、欠席が多い学生の面談や学生からの相談を受けており、担任に話しづらい場合は学生相談室の利用、保護者への郵送による出席状況報告をして学生支援を実施している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鉄道・トラベル学科 (2年制)	200,000 円	740,000 円	320,000 円	
ビジネス学科 (2年制)	200,000 円	740,000 円	320,000 円	
医療福祉ビジネス学科 (2年制)	200,000 円	740,000 円	320,000 円	
スポーツ学科 (2年制)	200,000 円	740,000 円	320,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校のHPにて公開している。 https:// www.all-japan.ac.jp/disclosure/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校運営に関し、自己点検・自己評価委員会でまとめた評価および改善計画が適切であるか検証するため学校関係者評価委員会を設置する。学校関係者評価委員会は原則として年1回開催する。 (1) 評価項目は次の項目とする。 基準1 (教育理念・目標) 基準2 (学校運営) 基準3 (教育活動) 基準4 (学修成果) 基準5 (学生支援) 基準6 (教育環境) 基準7 (学生の受入れ募集) 基準8 (財務) 基準9 (法令等の遵守) 基準10 (社会貢献・地域貢献) (2) 評価委員の構成 ① 定員は選出区分ごとに1人以上とする。 ② 選出区分は「卒業生又は保護者」「業界関係者」「高校関係者」「地域住民」とする。 (3) 評価結果の活用方法 自己点検・自己評価委員会でまとめた評価および改善計画につき、学校関係者評価委員の方から意見や指摘を受けた点について次のように活用する。 ① 私は職場で採用試験など多くの面接を担当しているが、最近コミュニケーション

ョン能力が低い人も多い、スマホなどの影響もあるかと思います。実際に人と話すことが苦手な人が多いと感じるのでゼミ学習の人と話しながら授業を行うのは大変良いことだと思う。今後も続けていってほしい。

⇒更に工夫をして継続していく。

② 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知については保護者会のような組織や場面があってもいいと思うので検討していただければと思う。

⇒検討していく。

③ 各学科ごとに専攻分野に関して多岐にわたる研修を実施していることが見て取れました。高校でも研修は行っていますが専門学校では社会のニーズに合わせて幅広く実施し常にレベルアップを考え研修に望み、修得した知識、技術を学生に提供している点は素晴らしいと思うので継続してほしい。

⇒毎年ニーズに合わせて幅広い研修を行っていく。

④ 就職支援のポータルサイト活用については3年ほど前からこういったシステムを構築している学校は多いです。タイムラグによって締め切りなどの問題もあると思うのでリアルタイムで更新できるこのシステムへの移行はいいと思います。また、在校生だけでなく卒業生も見ることができ第2新卒などの案内もできるようにしてもいいと思います。今後も取り組んでほしい。

⇒更に使いやすくなる様に進化させていく。

⑤ 経済的支援について独自の支援制度を設けている点において、実際に高校でも経済的に進学を諦める生徒もいるのが実情です。高校での部活引退後も好きなスポーツを通じて進学を目指すスポーツ実技特待生制度は高校生にとってありがたいですし、ニーズは必ずあります。続けて欲しい。

⇒今後も実施していく。

⑥ 新しいホームページは拝見しましたが、かなり変わっていて見やすくなりました。ただ、News&お知らせが1行しかないので見づらいと感じたのと、情報量の多さと流れる表示の速さが早すぎると感じたので、更なる改善を期待したい。

⇒改善を検討していく。

⑦ ホームページについては閲覧者がページの中のどの部分を見たのか、クリックしたのかの分析を行うといいと思う。

⇒確認して検討していく。

⑧ Instagram を拝見しました。鉄道系のシミュレータや日頃は目にできない内容が見られて楽しかったです。うちの高校でもSNSはみんな使っています。中でも今はInstagramとTikTokが主流でtwitterは減ってきています。情報発信ツールとしては大変重要であると感じるので今後も発信していただきたい。

⇒TikTokの利用を検討するとともに充実した発信を行っていく。

⑨ 財務情報など必要な情報がHPに公開されており、拝見したが適正に運営されていると感じました。財務情報の掲載方法などが決まっていれば難しいが、前年との比較があるとわかりやすいのではないかと思います。

⇒検討していく。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高等学校 教頭	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	高校関係者
医療関連企業勤務 支店長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	業界関係者
旅行会社勤務 営業部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	業界関係者
スポーツ系企業 経営者	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	業界関係者
鉄道会社勤務 指導車掌	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	業界関係者
電機系企業勤務	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校のHPにて公開している https:// www.all-japan.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校トップページ https:// www.nihonschool21.ac.jp 学園トップページ https:// www.all-japan.ac.jp
